



Rotary  
Tsuruoka West



国際ロータリー第2800地区

鶴岡西ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区方針 **「中核的価値観のもと、時流対応の時」奉仕の心の醸成と実践するロータリアン**

第2592回例会 2022年5月9日(月) 会場: グランドエルサン

◆会長 渡部 芳幸 ◆幹事 池田 拓弥

### 会長挨拶 渡部 芳幸 君



ゴールデンウィークも終わり通常の日常に戻りました。皆様はこの連休どのお過ごしになったでしょうか。今年は2年ぶりに行動制限がない連休で各地では人出が多かったようです。私も家族で湯田川のイベントに行きましたがとても人が多かったです。このまま社会経済が回っていくことを願っております。また、例年この時期に我が家の田植えを行いました。我が家で食べる分の小さな田んぼですが、子供たちと一緒にしております。このことをFacebookに投稿したら東京の知り合いから「美味しいお米が自給できるなんて羨ましい」とコメントいただきました。

私自身今はそう思っておりますが、その美味しいという感覚が、県外出てから初めて知りました。正直それまでは当たり前だと思っていましたし、高校生までは何も無い田舎だと思っていましたが、今ここに住んでいる事に感謝しております。子供たちも将来同じように思うでしょうから、今のうちに田舎だからできる様々な経験をさせてあげたいです。

さて、前回の例会から2800地区内のクラブで周年事業が2つ開催され、参加してきました。4月23日は山形ロータリークラブの70周年でした。さすが、県内で最初のクラブですので参加人数も多かったです。また、ド派手な演出は今までにない周年だったのではないかと思います。帰りに石黒先生が「あの格式高い山形RCがああ懇親会をしたのだから時代は変わったなあ」と言っていたことが印象的でした。

そして、一昨日の7日は山形南RCの50周年でした。こちらは周年事業として山形市との青少年教育について共同事業を行う調印式を行い、記念講演ではクールジャパンとして、県内に住んでいる外国人の方とのパネルディスカッションと山形弁研究家のダニエルカール氏の講演がありました。

県内在住の外国人の方とのパネルディスカッションでは祖国と日本についての文化の違いや、ロシア出身の方もいましたが現在のウクライナ侵攻で、ロシア国民が全員プーチンを支持しているわけでない事、地球規模で家族のような交流が必要である旨を話しておりました。

ダニエルカール氏のお話では日本はバラエティーに富んでいるという内容でした。アメリカなどから比べれば日本の面積は小さいのですが、一つ山を越えると言葉、食など違う文化があり、アメリカにはない独特の個性がそれぞれ培われています。しかし、礼節などを重んじる日本人はそれらの文化を主張することなく、謙遜しているためアピール不足であると言っておりました。

ここ鶴岡も同様で、市内だけでも様々な食文化や観光資源があります。これからもっとPRすることが必要ですし、ロータリークラブでも同じことが言えるのかなと思います。様々なバラエティーがある事業を行っていることをもっと多くの人に伝えることが必要かなと感じた周年行事でした。

私たち鶴岡西クラブも4年後には60周年を迎えます。これから少し先の未来を見据え行動することが求められると思います。

# 2021-2022 R I テーマ 奉仕しようみんなの人生を豊かにするために

## 幹事報告 池田 拓弥 君



- ・ 現、次期会長幹事会のご案内 5月23日(月) 17:30～ グランドエルサン 登録料6,000円
  - ・ 21-22年度 地区大会決議案 決議のお願い
  - ・ 22-23年度 決議事項 決議のお願い
  - ・ 「つるおかスポーツチャレンジ2022」実施について 期間5月1日～11月30日 8週間 56日
  - ・ コレ・ダヴァ・ワガルナーダ② 6月12日(日) 14:00～ 一般3,000円
- 鶴岡市中央公民館 市民ホール

## 誕生祝い

本間千佳子 君(5月) 渡部吉春君(5月) 今間勝見君(5月)  
 青山伸一君(4月) 早坂剛君(5月)



## 表彰

ポールハリスフェロー2  
 青山 伸一 君



## ゲストスピーチ

フェルメテクス株式会社  
 代表取締役 大橋 由明 様



フェルメテクス株式会社の事業  
 「納豆菌」を活かしたアップサイクル・フード

高品質なタンパク質と食物繊維、ビタミンも多岐、食経験に裏付けられた安全性と加工性に優れ、土地面積当たりの生産量が極めて高く、天候や地域を選ばず地産地消が可能なアップサイクル・フード原料と製造法を提供し、食糧タンパク質をマネジメントします。

設立の背景  
 世界人口の増加  
 2050年には97億人に  
 食料需要の増加  
 気候変動による作物の不作  
 戦争による作物供給の減少  
 干ばつによる水不足  
 Food Tech  
 フードテックで解決しよう！

会社設立関係者

【経営メンバー】  
 大橋 由明 代表取締役  
 長内 あや登 食品開発 (食の会日本橋経営・フードアナリスト)  
 児島 宏之 技術開発・製造 (元味の素株式会社専務執行役員)  
 菅野 隆二 前HMT社代表取締役社長  
 村上 秀明 管理・財務 (元HMT社CFO)  
 富田 勝 全般 (慶應義塾大学環境情報学部教授・先端生命科学研究所長)

【外部協力者】  
 斎藤 実典 福岡工業高等専門学校准教授 (食品開発・培地原料開発)  
 荒川 和晴 慶應義塾大学環境情報学部・先端生命科学研究所准教授 (培養法開発)

納豆菌粉を使った食品

納豆菌粉100%のソーダ揚げ (鶏肉・野菜・卵)  
 納豆菌粉100%のソーダ揚げ (鶏)

## ニコニコBOX

- ・ 齋藤 浩子 君 大橋様やっと大きな声で納豆菌の話が出来るようになり嬉しいです。
- ・ 今間 勝見 君 青山さんの復帰にスマイルします。
- ・ 井上 彬 君 前回の夜例会で今間さんより美味しい焼酎をいただきありがとうございました。青山さんおめでとう。
- ・ 本間 千佳子 君 この度は皆さまにご心配をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。心新たに精進します。
- ・ 青山 伸一 君 約一年ぶりの例会となります。ご心配をおかけいたしました。

本日の出席	会員数	29名	出席数	20名	出席率	68.97%
前々回の出席	出席率	57.14%	修正出席者数	19名	確定出席率	67.86%

